文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	次長	主査	担当	担当							文書取扱主任		

第 6 回 議会改革特別委員会 会議録

開催年月日	平成24年9月6日(木曜日)	開会 14時45分	閉会 15時10分
開催場所	第三委員会室		
出席委員	荒木、関藤、清水、渡邊、堀、山口、柴田、窪之内	事務局	中嶋事務局長
	議長		菊井次長
	委員外～小野、木下		村井主任主事
欠席委員	なし		
説明員		議 件	別紙のとおり
議 事 の 概 要	次の事項について委員長及び事務局から説明を受け、質疑を行い、すべて確認済みとした。		
	1. 議会中継の導入について		
	2. 議長公選制の導入について		
	3. その他について		
	なし。		
	4. 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することとした。		
上記記載のとおり相違ない。 議会改革特別委員長 荒木文一 ㊦			

第6回 議会改革特別委員会

H24. 9. 6 (木) 本会議終了後
第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶 (委員動静)

1. 議会中継の導入について
2. 議長公選制の導入について
3. その他について
4. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第6回 議会改革特別委員会

H24. 9. 6 (木) 本会議終了後
第三委員会室

開 会 14:45

委員長挨拶

委員長 本会議終了後、大変お疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。本日2点について、議論あるいは投げかけということになろうかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員動静報告

委員長 委員動静につきましては、全員出席。議長に出席していただいております。委員外議員として、小野議員、木下議員の出席を許可しております。

1. 議会中継の導入について

委員長 議会中継の導入について、何度か説明させていただいていますが、きょうこの場で何とか決めていきたいと考えています。事務局より説明願います。

菊井次長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。質疑はありますか。

山 口 カメラは今の物を使うということであれば、質問席、答弁席など固定なのか、今のカメラに回る機能とかがあるのか確認したい。

村井主任主事 3台カメラがあり、議長及び答弁席、質問席、全体の3パターンを映しており、常時切りかえをして配信しています。カメラ自体も動く物になっているので、周辺を撮影することもできるが、基本的には3パターンを配信しているので、それをインターネット上に流すこととなります。

山 口 今庁内で放送しているが、あれも質問する人に切りかわっているが、同じようにインターネットで見せるということか確認します。

村井主任主事 そのとおりです。

委員長 ほかに質疑はありますか。

窪之内 インターネットに出すということは、受信する際にはパソコンを使うしかないということなのか伺います。

菊井次長 あくまでもインターネットなので、パソコンで受信をするということになります。

委員長 当然、インターネットの環境がなければ、見ることはできません。ほかに質疑はありますか。

清 水 7番が気になるが、市の観光スポット情報やイベント情報を配信するのは、一度撮ったVTRを流すということだと思うが、ただ、イベント中継とかもやろうと思えばできるので、システム機器を市長部局と共用して、いろいろなものに使えるとすれば、非常に経費も少なく済み、その場合は、ハンディカメラやノートパソコンも考えるなど検討したほうがよいと思うがいかがか。

委員長 7番は何も決まっていません。こういう活用方法があるということですが、ただ、何もしないというわけでもない。今後、活用方法の検討が市役所内部で行われると思うので、今はそのことを議論することはできません。ほかに質疑はありますか。

渡 邊 回線の関係だが、新たに回線を引いたら、月額7,000円というのは、庁舎内ではなく議会の中で7,000円かかるということなのか伺います。

- 菊井次長 今、庁内で使っているインターネット条件を使うと何もかからないが、新たに線を引くとなると、どこかのプロバイダーに申し込みをしなければならず、その辺の経費がかかってきます。その部分が約7,000円です。
- 委員長 これに関してはまだかかるかどうかわかりません。試験的に行ってみて、余りにもお粗末な映像であればしないほうがよいと思います。技術的なこともあるので、市の所管と打ち合わせをして進めたいと思います。ほかに質疑はありますか。
- 清水 サーバの機能だが、USTREAMは無料だという話だが、石狩市議会であれば、平成23、22、21年と何年分もの初日から最終日まで全部見られるようになっている。映像はかなり容量がかかるので、何百ギガという世界のものを無料で行ってくれるのか伺う。
- 村井主任主事 USTREAMに登録して配信をする形になり、こちらのほうで映像を保存しておくことになります。
- 清水 過去の映像をユーザーがネットでクリックしたら見られるということではなく、あくまでもインターネット中継だけを考えているのか、過去の映像も見られるようにするのか伺う。
- 村井主任主事 ライブ中継と過去の映像を配信することになります。
- 清水 その場合サーバはどのようになるのか伺う。膨大なデータは、USTREAMのサーバにはなく、滝川市のサーバに置いておけば、ユーザーがクリックしたときに滝川市のサーバから読み取っていくということか伺う。
- 菊井次長 最初のときは流しますが、その後はホームページにアクセスしてもらって、そこで見てもらい、画像は情報化推進室と協議をしなければならないが、情報化推進室のサーバに置いて利用したいと考えています。
- 委員長 ほかに質疑はありますか。
- (なしの声あり)
- 委員長 予算要求等が発生するので、本日の会議を持って導入をするということで、確認をしてよろしいでしょうか。
- (よしの声あり)
- 全員賛成ということで、そのように確認しました。引き続きもっと前進をした形で進めて、その都度報告したいと考えています。また、1定から行うか、2定からにするかは、ある程度その辺はどちらかになるということで了解願います。本当は1定から導入を望んでいるが、どのような予算の確保をするかということがあるので、その辺まで今詰めなければならないとなると、相当難しい話になるので、それはその都度報告させていただきます。それでは1については確認済みとします。
- 2. 議長公選制の導入について**
- 委員長 この件についても、どこかで議論を深めていくのか、あるいは無理なのか判断をしなければなりません。私のスケジュールでいけば、今回、各会派、各委員の皆さんに公選制を導入するかという投げかけをして、次回、会派協議を経た中で、導入の方向に進んで議論を深めるべきだということを確認させていただきたい。簡単に議長公選制というが、非常にいろいろな法律の枠があって、例えば立候補制ではないなど、いろいろと難しい問題があります。強いて言えば、改選後の臨時会までのスケジュール、回数も含めて相当変わってくると思われます。また、運用の方法もさまざまと思われるので、相当な勉強や研究とか、

ここで一つ一つ議論をして潰していくという状況が想像できます。公選制を導入するということで、前向きに賛成するかということを次回の委員会で、確認をさせていただこうと考えているので、そのことについて意見を伺います。

渡 邊 判断基準となるべき事例的なもの、資料的なものが委員会に提出されるのか伺います。

委員 長 私の判断としては、公選制を全く許さない、導入すら許さないことであれば、進めても入口から無理だと思っているので、積極的に賛成かどうかは別にして、議論に値して、できればやり方によってはそういう方向に持っていきたいというくらいの確認は必要なので、提案をさせていただきました。次回各会派、無所属の委員にも伺いたいと思います。

渡 邊 会派に持ち帰ったときに、委員から説明する際に何かベースになる資料があって、それに基づいて公選制の導入について決めることになるのではないかとと思うがいかがでしょうか。

委員 長 例えば会派の中で話し合いをする際に、全く想像もつかないということであれば、議論にならないのかもしれない。事務局のほうで、いろいろな想定も含めて用意をしているので、会派の中で疑問点があれば、局長のほうにその都度問い合わせをしてもらって構いません。決定していく事項というのはたくさんあるので、おおむねこのような感じだということは答えられると思います。ほかに何かありますか。

山 口 議長公選制のイメージがきっと各議員で違うことがあると思う。この議長公選制というのは、今はこのように議長を選んでいます、実際にはこういうようにすることを想定していますという説明をしてもらったほうがよいと思うがいかがでしょうか。

委員 長 現状は指名推薦で、各会派の代表者の中で調整をしているが、大ざっぱに言えば、これを投票で決めるイメージです。事務局より補足説明をしてもらいます。

中嶋事務局長 これまでの慣例、先例によって、第1会派から議長、第2会派から副議長という取り決めで行ってきました。議長公選ということになると、任期も含めて、まず公職選挙法の準用になります。自分が議長になりたいと手を挙げても、公選法の範囲を超えているので、受け付けられません。調整という中で公選が実施されるという感じになります。今までの慣例から外れて、調整の中で議長を推薦して選挙する形になります。

委員 長 要するに投票行為があるかどうかということだと理解できますか。

中嶋事務局長 指名推薦ではなく、選挙になります。

委員 長 ほかに質疑はありますか。

窪之内 今までの慣例との関係でみれば、議長公選制を導入しようということになれば副議長も公選制ということで、セットと考えてよいのか伺います。

委員 長 議長も副議長も同じ制度の中で行われることになるとと思います。ここで確認したいのですが、どうしても何らかの予備知識がないと決められないということでしょうか。前向きに研究して、導入の方向までいくのか次回確認させていただきたいと思います。そのこと自体だめとなると、先に進むことができませんがいかがでしょうか。市民クラブはいかがですか。

柴 田 市民クラブとしては大まかなイメージというものがあるので、会派で議論をして、議長公選制の導入の可否について、次回の委員会までに結論を出していきたいと思います。

委員 長 新政会。
山 口 同じです。
委員 長 公明党。
堀 同じです。
委員 長 清水委員。
清 水 同じです。
委員 長 先ほども話しましたが、事務局のほうに疑問点を問い合わせてもらい、会派の状況を見ながら次回委員会の設定をさせてもらうこととします。

3. その他について

委員 長 委員から何かありますか。
(なしの声あり)

委員 長 事務局から何かありますか。
(なしの声あり)

4. 次回委員会の日程について

委員 長 正副委員長に一任いただくことでよろしいですか。
(よしの声あり)

委員 長 以上で第6回議会改革特別委員会を閉会します。

閉 会 15:10